慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	三田哲学会行事報告
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	2019
Jtitle	哲學 (Philosophy). No.143 (2019. 3) ,p.205- 208
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000143-0205

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三 田 哲 学 会 行 事 報 告

〈講演会記録〉

◆ 2018 年 4 月 12 日（木）18 時 00 分～ 20 時 00 分
場所：慶應義塾大学三田キャンパス　南校舎 473 教室
講演タイトル：日本における宗教人類学の回顧と展望―学説史と自分史のはざまで
講師：鈴木正崇（慶應義塾大学名誉教授）
担当：三尾裕子（慶應義塾大学）

◆ 2018 年 4 月 27 日（金）18 時 30 分～ 20 時 50 分
場所：慶應義塾大学三田キャンパス　北館ホール
講演タイトル：音としての「精神」―音楽を通して「近代」を再考する　第 1 回　パッションと理性
講師：仲道郁代（ピアニスト），斎藤慶典（慶應義塾大学）
担当：斎藤慶典（慶應義塾大学）

◆ 2018 年 5 月 15 日（火）15 時 00 分～ 17 時 00 分
場所：慶應義塾大学三田キャンパス　南校舎 472 教室
講演タイトル：分野をまたぐ―ドキュメンタリープロジェクト『Ibasyo』を例に
講師：仲道郁代（ピアニスト），斎藤慶典（慶應義塾大学）
主催：慶應 ABR
担当：岡原正幸（慶應義塾大学）

◆ 2018 年 6 月 2 日（土）14 時 00 分～ 17 時 00 分
場所：慶應義塾大学三田キャンパス　西校舎 527 教室
講演会タイトル：基礎心理学フォーラム『時代は変わる―再現可能性問題から基礎心理学のパラダイムシフトへ―』
講師および演題：（1）池田功毅（中京大学）「再現可能性問題は心理学教育をどう変えるか？」，（2）小杉考司（専修大学）「新しい統計学とのつきあいかた」，（3）渡邊芳之（帯広畜産大学）「和文学会誌は再現性問題にどのように立ち向かうか」
主催：日本基礎心理学会
担当：川畑秀明（慶應義塾大学）

◆ 2018 年 6 月 10 日（日）10 時 00 分～ 17 時 00 分
場所：慶應義塾大学三田キャンパス　東館グローバルリサーチラボ
講演会タイトル：医療と人文社会科学の架橋に向けて V：The Edges of the Clinic

講師および演題：
Introduction: Junko Kitanaka（Keio University), Sayaka Mihara（Keio University）
Part I: Histories and Epistemologies
Sayaka Mihara（Keio University）“Medicine Use and Somatic Localizations of Childhood Illnesses in 1930s Tokyo”
Kanako Sejima（Kyoto University）“Exploring Psychotherapeutic Approaches for Dementia”
Suguru Hasuzawa（Kyushu University）“Philippe Pinel's Conception of Statistics”
Nao Hasuzawa（Kurume University）“Piaget and Kuhn, Toward an Epigenetic Epistemology”
Part II: The Edges of the Clinic
Yuna Umeda（Tokyo Metropolitan Matsuzawa Hospital）“Doctors' (Dis) embodiment of Biomedicine”
Hiroko Kumaki（The University of Chicago）“Capturing the Nuclear Fallout: Disaster Mental Healthcare in Fukushima, Japan”
Harris Solomon（Duke University）“Near Death: Traffic and Trauma in Urban India”
Jeremy Greene（Johns Hopkins University）“The Television Clinic: Revisiting Old Experiments with New Media in Medicine”
General Discussion: Naoki Kasuga（Hitotsubashi University), Tadashi Yanai（Tokyo University）
担当：北中淳子（慶應義塾大学）

◆ 2018 年 7 月 3 日（火）13 時 00 分～ 14 時 30 分
場所：慶應義塾大学三田キャンパス　研究室棟 223 番
講演タイトル：演劇とコミュニティ
講師：関根淳子（俳優・演出 SPAC 静岡県舞台芸術センター）
主催：慶應 ABR
担当：岡原正幸（慶應義塾大学）

◆ 2018 年 7 月 5 日（木）18 時 00 分～ 20 時 00 分
場所：慶應義塾大学三田キャンパス　南校舎 443 教室
講演タイトル：マインドフルネスからハートフルネスへ：コンパッションによる自己と社会の変革に向けて
講師：スティーブン・マーフィー重松（スタンフォード大学）
担当：三尾裕子（慶應義塾大学）

◆ 2018 年 7 月 11 日（水）16 時 30 分～ 19 時 40 分
場所：慶應義塾大学三田キャンパス　南校舎 473 教室
講演タイトル：ビデオ・ウィンドウ in Tokyo
講師：Bruno Z'Graggen Universitat Luzern（フリーランスキュレーター，スイス・ルツェルン大学）
主催：森川剛光研究会
担当：森川剛光（慶應義塾大学）

◆ 2018 年 10 月 23 日（火）15 時 00 分～ 18 時 00 分
場所：慶應義塾大学三田キャンパス　南校舎ホール
講演会タイトル：「廻り神楽」特別上映会
講師：遠藤協（映画監督）
担当：三尾裕子（慶應義塾大学）

◆ 2018 年 11 月 8 日（木）10 時 45 分～ 11 時 50 分，13 時 00 分～ 14 時 30 分
場所：慶應義塾大学三田キャンパス　南校舎 473 教室
講演タイトル：「医学史について誰もが知っておくべき（が意外と気付いていない）こと」，「プレゼンテーションの技」
講師：栗山茂久（ハーバード大学）
担当：北中淳子（慶應義塾大学）

◆ 2018 年 11 月 11 日（日）14 時 30 分～ 17 時 00 分
場所：慶應義塾大学三田キャンパス　第一校舎 108 教室
講演会タイトル：心の科学と哲学の最前線
講師・演題：（1）網谷祐一（東京農業大学）「『人間の心の進化』研究の哲学的検討：説明の質の問題と適応主義の『引力』をめぐって」，（2）鈴木大地（自然科学研究機構）「意識の進化的起源を探る」
主催・担当：田中泉吏（慶應義塾大学）

◆ 2018 年 11 月 20 日（火）13 時 30 分～ 16 時 00 分
場所：慶應義塾大学三田キャンパス　研究室棟 223 番
講演タイトル：東アジアのパフォーマンスアートの現在
講師：パク・ジュヨン（パフォーマンス・アーティスト），霜田誠二（パフォーマンス・アーティスト）
主催：慶應 ABR
担当：岡原正幸（慶應義塾大学）

◆ 2019 年 1 月 17 日（木）10 時 45 分～ 11 時 50 分，13 時 10 分～ 14 時 30 分
場所：慶應義塾大学三田キャンパス　南校舎 466
講演会タイトル：医療と人文社会科学の架橋に向けて 11: ライフサイクルの医療化―子どもの記憶とトラウマ；高齢化と透析治療・腎臓移植
講師・演題：Kathryn E. Goldfarb（University of Colorado at Boulder）“Knowledge and Narration: Material Mnemonics and Embodied Memory in Japanese Child Welfare,” Amy Borovoy（Princeton University），“Aging and the Medicalization of Late Life: The Case of Kidney Transplant in Japan,” コメンテーター：漆原尚巳（慶應義塾大学）
担当：北中淳子（慶應義塾大学）

三 田 哲 学 会 行 事 報 告

〈MIPS（三田哲学会 哲学・倫理学部門 例会）2018〉

2018 年 10 月 27 日（土）10 : 15 ～ 18 : 10
三田キャンパス 西校舎　516 番教室

プログラム

研究報告

10 : 15 ～ 11 : 00　ホッブズにおける規範の正当化理由
郷家　綾 君（文学研究科博士課程）
11 : 00 ～ 11 : 45　毒パズルと誘惑事例
佐藤広大 君（文学研究科博士課程）
11 : 45 ～ 12 : 30　倫理的共同体とはいかなる最高善であるか
中野愛理 君（文学研究科博士課程）
（昼休み）
13 : 30 ～ 14 : 15　諸天体と諸天使の種別化：トマス・アクィナスと種の理論
石田隆太 君（日本学術振興会特別研究員）
14 : 15 ～ 15 : 00　ハンス・ヨナスの思想における「偶然」について
山本剛史 君（文学部非常勤講師）
15 : 00 ～ 15 : 45　理論から自覚の哲学へ
―『探究』冒頭から考察する治療的哲学の意義―
林　晃紀 君（文学部非常勤講師）

講演

16 : 00 ～ 17 : 00　功利の原理とヒュームの法則
矢島壮平 君（東京大学大学院人文社会研究科研究員）
司会　田中泉吏 君（文学部助教）
17 : 10 ～ 18 : 10　レヴィナスのユマニスムの特異性
村上　暁子 君（文学部助教）
司会　山内志朗 君（文学部教授）